



国立市

# 矢川駅周辺まちづくりについて

矢川駅周辺まちづくりの内容をお知らせします。  
JR南武線の連続立体交差事業にあわせた矢川駅周辺の道路や駅前広場の整備は、矢川駅周辺基盤計画に基づき検討しています。



## 1. 交通基盤整備の方針

### (1) 矢川駅周辺の現状

駅南側は駅前広場がありません。  
歩行者や自転車の安全性・利便性の向上を図る必要があります。



駅南側の状況

#### ①バス

北口広場内の乗降場は矢川駅着の降車専用です。

矢川駅発・経由の乗降場は矢川通り沿いにあるため、乗車待ちのバスが交通渋滞を招く場面があります。



バス乗降場

#### ②タクシー・自家用車乗降場

タクシー及び自家用車の乗降場がありません。

### (2) 駅前広場に求められる整備内容

だれもが安全で快適に利用できる空間づくり【交通空間：交通結節機能】

南北で機能を適切に分担する駅前広場  
乗り換え利便性を向上させるロータリー  
必要な機能や駅前広場の利用者数などを考慮した適正な規模



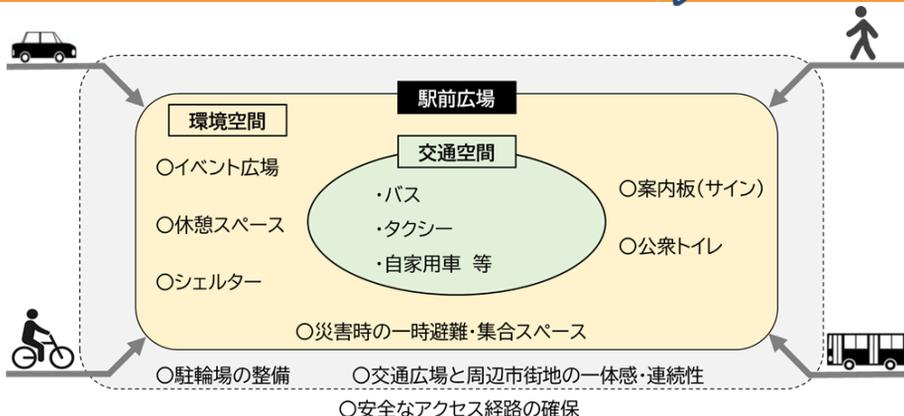
にぎわいに満ちた魅力ある空間づくり【環境空間：都市の広場機能】

人々が集い・憩える広場空間  
無電柱化を通じ災害時における避難スペースとしての機能  
だれもが安心して、快適に利用できるデザイン



周囲と一体となった空間づくり

駅・商店街・周辺施設などと一体感・連続性  
駅周辺の安全な歩行者・自転車動線  
広場空間と連続する防災性の高い歩行者空間



駅前広場整備内容の一例

### (3) 南口駅前広場の規模の想定

新たに整備を行う南口駅前広場については、矢川駅の利用状況をもとに車種別の分担率などから利用台数を想定し、必要となる駅前広場の規模を検討しています。

#### 駅前広場の規模算定

項目		南口	備考
 バス	乗車	1 バース	下り線
	降車	1 バース	下り線
 コミュニティワゴン	乗車・降車	—	—
 タクシー	乗車	1 バース	—
	降車	1 バース	—
	タクシープール	4 台	—
 自家用車	しょうがいしゃ専用	1 バース	—
	駅送迎用	2 バース	—

### (4) 南口駅前広場整備案



#### 配置の考え方

矢川通りに隣接して南口駅前広場を配置します。

路線バス等の公共交通は矢川通りからアクセス道路を経由して駅前広場へ進入します。

※路線バスルートについては、今後の東京都やバス事業者との協議を踏まえて検討します。

## 2. 土地利用の方針

国立市都市計画マスタープランで位置づけられる地域拠点を形成するため地域の方々の日々の暮らしに密着した**商業・サービス等の生活機能の維持・増進**を図るため、交通基盤整備にあわせた用途地域の変更及び地区計画の策定等による、**土地利用の誘導**についても検討します。

### 交通基盤整備にあわせた用途地域の変更

駅前広場周辺における**商業系土地利用の誘導**  
 基盤整備状況に応じた**中層建築物の誘導**



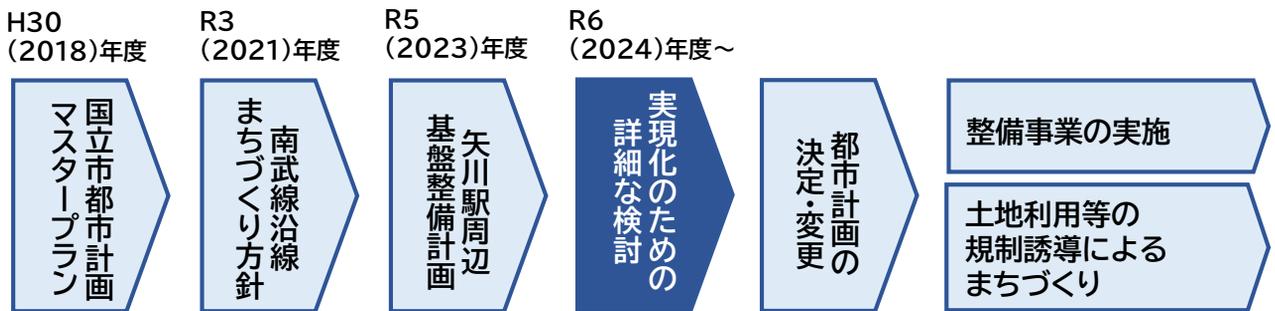
### 良好な地域拠点形成のための地区計画の策定

地区の**住環境の維持・保全**（隣の建物との距離の確保、道路境界部の壁面後退等）  
 立地が望ましくない**建築物の用途の制限**（倉庫や工場等の土地利用の制限等）

## 3. 今後の進め方

### 駅前広場・アクセス道路

南口駅前広場の整備・駅前広場へのアクセス道路の整備等に関しては都市計画事業として基盤整備を予定しています。



### 土地利用

南武線沿線まちづくり方針に掲げる「多彩な暮らしと豊かな地域資源が調和した魅力あるまち～子どもから高齢者までだれもが安心して暮らせるまち～」を実現するため、連続立体交差事業、駅前広場、アクセス道路の整備だけでなく、にぎわい・くらしづくりに資する**土地利用形成**を進めていきます。

また、基盤整備の状況や将来の土地利用の状況を踏まえ、用途地域の指定基準に即した**用途地域の変更**を行いながら、**地区の環境を悪化させる建築物の建設を防止**するために**地区計画等の規制誘導手法**についても導入を検討していきます。

『南武線沿線まちづくり方針』や『矢川駅周辺基盤整備計画』は国立市HPでご覧いただけます

南武線沿線まちづくり方針



矢川駅周辺基盤整備計画



発行：国立市 都市整備部 南部地域まちづくり課(国立市役所3階51番窓口)

電話：042-576-2111(内線:372) ファクス:042-576-0264

E-mail: sec\_nanbuseibi@city.kunitachi.lg.jp